発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全3枚)

氏 名 中川 敬雄

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>乗合タクシー×顔パス実証事業について 事業の概要について</p> <p>令和6年度から導入されているAIオンデマンド乗合タクシーに加え、新たに顔認証技術を活用した「顔パス」の実証を行うとのことだが、約8,300万円と非常に大きな予算が組まれている。本事業の概要を示せ。またAIオンデマンドでの実績や今までの顔パスを導入した他の事業での課題も踏まえ、導入に至った経緯と期待される効果を示せ。</p>	
	(2)	<p>利用登録数とその手続きについて</p> <p>今回の顔パス導入は実証運行という位置づけだが、具体的な実施期間と、どの程度の利用登録数を想定しているのか。また、利用者は高齢者が多いと思われるが、顔パスを登録する際の手続きはどのように行うのか。</p>	
	(3)	<p>将来ビジョンについて</p> <p>今後、この顔パスシステムをほかの公共交通サービスや地域の商業施設などへ拡張する構想はあるのか。また、既存のICカードやQRコード決済などとの連携も考えられるが、市としては今後の運用コストも含めてどのような将来ビジョンをもっているのか。</p>	
2	(1)	<p>デジタル手続きの総合支援事業について 事業の目的と期待される効果について</p> <p>デジタル手続きの総合支援事業の主な内容は、市民がスマートフォンを活用してマイナポータル等で手続きを行えるよう支援することと思うが、本事業が狙う「行かない窓口」について、どのような業務を取り扱うのか。また、どの程度の利用拡大や、市民の利便性向上を期待しているのか。</p>	
	(2)	<p>普及促進に向けた広報と周知方法について</p> <p>スマホやマイナンバーカードを活用した行政手続きは、機器や操作に抵抗のある方もいると思う。またSNSを利用した詐欺や行政をかたる詐欺も多い。市としてはどのように広報や周知を行い、抵抗感の払拭につなげていくのか。</p>	
3	(1)	<p>加賀市版ライドシェアについて 運営の状況について</p> <p>観光業界、飲食店、利用者等の求めにより、一部時間の延長とエリアの拡大を図ったとのことだが、現在の運営の状況とインバウンドでの利用割合等を示せ。</p>	

発言通告書要旨 (2枚目/全3枚)

氏名 中川 敬雄

発言番号	発言事項及び発言要旨	備考
(2)	<p>貨客混載実証事業について</p> <p>貨客混載実証事業を行うということだが、その概要を詳細に示せ。また、ドライバーの収入の増加と稼働率の向上もできるとのことだが、どの程度を見込んでいるのか。</p>	
4	<p>カスタマーハラスメント対策について</p> <p>ここ最近カスタマーハラスメントが公共民間問わず、問題となっている。自治労の調査によれば、過去3年間でカスハラを受けた又は目撃した公務員は実に約4分の3の職場にのぼるといふ。つい先日も新聞に特集が組まれていた。</p> <p>自治体におけるカスハラは住民側も公僕、すなわち「公衆に奉仕する者」といった認識を公務員に対して持っているため、要求がエスカレートしやすいと言われている。</p> <p>昨今の現状はこのまま看過できない状況にあるといえるのではないかと。市としても職員を守るために何らかの対策を取るべきではないかと思うが所見を問う。</p>	
5	<p>加賀温泉駅周辺施設整備事業について</p> <p>北陸新幹線敦賀延伸開業からそろそろ1年がたつ。加賀温泉駅高架下都市施設「ゆのまち加賀」も開業した。残すところは全天候型広場施設いわゆるガレリアを中心とした駅前広場の整備だと思う。ガレリアについても、「ゆのまち加賀」のように愛称を決めるべきだと思うが、そのような予定はあるか所見を問う。</p>	
6	<p>未来型商業エリアについて</p> <p>加賀市内には若い人たちが憩える場所がないといわれている。そのような中で大きな期待をもって出てきた商業施設の誘致計画であるが、現在の進捗状況と、それに伴う新たな道路整備事業の計画について、予想される通行量も含め詳細な説明を求める。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目/全3枚)

氏 名 中川 敬雄

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
7	<p>大聖寺実業高校生からの提案について</p> <p>先日行った加賀市議会と大聖寺実業高校との意見交換会において、生徒の提案の中に次のようなものがあった。</p> <p>「観音様バンジー+観音様付近、遊樂地計画」なるものがあった。その名の通り観音様にバンジージャンプや展望台を作って、お寺モチーフのカフェや定食屋をつくるというものである。</p> <p>発想はインパクトがあり、面白いかもしれないが、行政が手掛けるべきものではないと思ったが、プレゼンの文章の中に気になる言葉がいくつかあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現在、加賀温泉駅を進展させた中、結局加賀温泉駅には加賀温泉駅しかなく、近くを歩いても、ただ大きい銀行やマクドナルドが店舗を構えてるだけで正直おすすめポイントがない。せっかく立派な加賀温泉駅を手に入れているのなら、加賀温泉駅周辺も成長させてあげようじゃないかと考えた。地元民として私たちも胸張ってまちのよさを広めたい。」 ・「加賀市民ならどこにいても観音様を見つけられるぐらいの大きさがあるけれど、廃墟になったままじゃ勿体ないの言葉以外ありません。しかし、地元民が喜ぶかと言うと、そうとも限らないかもしれませんが、この遊樂地を目がけてやってくる人々又はメディアはいるかもしれない。」 <p>この高校生たちの素直な思いを言葉にしたものには考えさせられるものがあった。加賀温泉駅周辺を整備していくと、いずれ何らかのアプローチをすべきと考える。</p> <p>現在、令和6年能登半島地震以降、立ち入り禁止となっているが、状況を把握しているのか。</p>	